

町民ミーティングを基に

町の「人口減少対策」の重点施策を「住宅」対策に 決定！！

町主催の町民ミーティングが「人口減少対策」をテーマに今年の7月から8月にかけて実施され、中学生を含む延べ110人が参加し、多くの意見が出されました。町は10月7日の議員協議会で、町民ミーティングを基に、職員が人口減少対策につながる施策を各事業で計画立案すること。さらに、重点施策として、「**住宅施策**（宅地造成、空き家対策、集合住宅誘致など）」を位置付けるとしました。具体的な施策は、今後、各課横断的に検討し、ぶれない方針を創り、「キャッチフレーズ（宣言）」を年度内に作成するとしました。

## 岡山県 奈義町の「人口減少施策」から 学ぶことは

町は昨年8月の岡山県奈義町（合計特殊出生率 2.95% 日本一、人口5,280人）の視察を基に、今回の町民ミーティングを行ったとしています。池田町の人口減少対策の参考とするため奈義町の人口減少施策の良かった点について、奈義町に関するレポート（奥正親 奈義町町長）及び奈義町の共産党議員の話などから考えてみました。

【奈義町の人口減少対策の取り組みで良かった点】

- ①2002年の市町村合併の時に自立を選んだ住民投票の頃から町民・行政・議会で「まちづくり」を検討し、大型事業を抑え生活に結びつく事業を重視した施策を進めたこと。
- ②人口増につながる重点施策を計画的に行ってきたこと。（**住む場所の確保**：若者住宅の建設、雇用促進住宅の購入、分譲地の造成 **働く場所の確保**：企業誘致、しごとコンビニ事業 ※1 **子育て支援**：小中学校の教材費公費負担、高校就学支援金＝24万円/年 等）
- ③2010年頃からの児童数減少に対応するため「子育て応援宣言（キャッチフレーズ：子育てするなら奈義町で！！）」を行い、地域みんなでの子育て支援体制（一時預かり、下校時の見守り、学習支援ボランティア）を築いたこと。
- ④町民が運営に参画する保育事業（なぎチャイルドホーム、自主保育）等の仕組みによりママ友の交流が盛んになり子育てへの安心感が増し、多子世帯や移住者が増えたこと。
- ⑤行政が町民の声を聴き、出された意見・要望を実現する制度を創ったこと（しごとコンビニ事業 ※1、住民総参加型ポイント制度 ※2）。

※1 しごとコンビニ事業：子育てしながら空いた時間に働きたいママさんなどの要望と町内の事業所、農家、商店との求人をマッチングする制度（町民主体で法人化）

※2 住民総参加型ポイント制度：住民が町内商店で買い物をしたり、町の健康事業やボランティア活動に参加するとポイントが付き、ポイントで買い物ができ、給付金としての受け取りもできる制度。

### 《奈義町の人口減少対策から思うこと》

◎奈義町の取り組みからも、人口減少対策の実現には総合的な取り組み（住宅、働く場、子育て支援など）と地域みんなで支援する取り組みが必要であると思った。

池田町も町民ミーティングの意見を参考に、施策の優先順位などを具体化した人口減少対策戦略（案）を創り、議会・町民に提示していただき、話しあうことが大切だと思う。その中から各々のできることを明らかにし、地域みんなで子育て支援をより充実していかなければと思う。



奈義町の多くの田に「菜の花米」生産のため菜の花が植えられています。